

# 2025 むしプロジェクト

Part 1

4月進級当初  
虫探しが遊びの中心。  
虫網や虫かごが、  
足りなくなるのは  
日常茶飯事



まいにち

むしさがし



ちょう

バッタ



大きいのは  
逃して、  
小さいのは  
飼おう！

先生、  
このエサ、  
食べるかもよ



5/26 カエルに草を



あげる

5/29

たべない・・・



保育者が2冊の本を  
保育室に置いておくと

5/2

でっかい！



カエルをみつけた！



6/3 エサ作り  
&  
おせわ

“これでエサをたべるかも！”

Part 2につづく・・・

5/31  
保育者がエサをかう



しかし、  
良いエサは  
みつからうす”



“スクンが  
“ゴホーして！”  
ゴホーしたノージを  
公園に持って行って、  
公園の隅々からエサを  
調べるから探しました”

5/20

Tくんがアゲハの  
幼虫を持ってきた！  
どうやったら、  
アゲハになるかな・・・

# 2025 むしプロジェクト 6/16

## Part 2

Part1より・・・

6/3  
カエルのエサを作って、  
あげたが食べない。。

おおきいかエルは  
たべるかも!!  
再びカエルを  
アザに



カエルを観察していた  
子どもたちでしたが、  
いつまでもエサを食べないため、  
このままでは死んでしまうから、  
逃がそうという話に  
なりました。



近くまで  
アザの方へ



おおきいかエルも  
エサをたべてくれない  
ので、再びアザに...

なんていう  
トンボかな



生きてる虫を  
かまきりにあげて  
良いと思う人!!



8/4 朝  
かまきりのエサを  
どうしよう...という  
話し合いが始まりました

7/31  
かまきりをもってきました!



とんぼをくれました!!



かまきりを見た子どもたちは、  
早速「飼いたい!」と言い、  
自主的にかまきりの飼い方を  
調べ始めました!

図鑑で調べると、かまきりは  
「生きてる虫」しか食べないという  
ことが分かりました。  
すると子どもたちは、かまきりに  
「生きてる虫をあげるかどうか」を  
多数決で決めようとしています。  
あげたい子どもがほとんどで、  
生きたままあげられてしまう虫が  
かわいそうと主張する子どもは  
たったひとり。  
さあ、子どもたちは  
どうするのでしょうか??

かまきりは、  
生きてる虫しか  
食べないんだよ!



Part 3につづく・・・

# 2025 むしプロジェクト

## Part 3

### Part2より・・・

かまきりに生きている虫をあげるかどうか、多数決をとった子どもたちでしたが、あげたらかわいそうと言う子どもがひとり。少数意見をどうするか・・・子どもたちの話し合いは続きます。

8/4 夕方  
保育者が生きているお  
食べられてしまったこと  
について、子どもたちに  
話すと・・・

保育者から生きているまま食べられてしまう怖さを聞いたTくんが「生きている虫以外、何か食べないかな?」と、言い出します。再び、みんなで図鑑や本で調べると・・・「鶏肉を食べるって書いてある!!」と、新しい発見をするのでした。

8/6 さっそくスーパーへ  
とり肉を買いにいきました



とりにく、どうぞ



8/7 かまきりにとり肉をあげます

けれども...

なかなか食べないため、原因をつきとめるべく、再び調べます。

「このままではかまきりが死んでしまう」と、とうとう生きているバッタをかまきりにあげるといふ決断をみんなでしました。

バッタ、食べてる・・・

8/14 とり肉をつるす



鶏肉は吊るしてあげた方がよいということが分かりました。



それでもたべない

2日に1度くらいのペースでかまきりのエサを探してあげますが、だんだん食べなくなり、弱ってきてしまいました。



9/12 季節的にバッタがいなくなり、アリやダンゴムシをあげてあげることになりました

ありもたべるかな



ダンゴムシのせなかに、穴あけてるー!

9/19

ある子どもの「かまきりを逃がそう」の声で、公園に逃しに行きました。



一度バッタをあげた子どもたちは、かまきりが、死なないうよう、小さなバッタをあげるようになりました。

### Part 4につづく・・・

# 2025 むしプロジェクト

## Part 4

### Part3より・・・

かまきりはバッタ以外の虫も食べることが分かったものの、飼っているうちにだんだん弱ってきてしまい、ある子どものつぶやきから、子どもたちは逃すことを決意します。



やっぱり逃がそう!

この辺は?

ありがとー

9/2

かまきりを飼う一方で、イモムシを見つけ、これも飼うことにしました。

9/4

「これは、どんな蝶々になるのかな？」子どもたちに疑問が生まれ、図鑑で調べ始めます。



これじゃない?

希望的観測もあり😁、「アゲハ蝶」に予想を絞りました。

9/10

図鑑が好きなTくんは、毎日のように図鑑を観ている中で、あることに気がつきます。「これ、毒蛾かも。」

図鑑の写真から一番似ている幼虫を見つけ出し、どの蝶になるかを予想しました!

9/25

次々と羽化しました!

さなぎから孵ったのが、「蛾」であったことに、子どもたちは、驚きと、予測が当たった嬉しさを感じていました。蛾は餌を食べず、10日で死んでしまうということも保育者と一緒に調べて分かり、逃すことにした子どもたちでした。



飼い始めて間もなく、さなぎになりました。



今度は保育者と蛾について調べ始めました。すると、これは毒が無く、「オオスカシバ」という蛾であることが分かりました。すると、子どもたちからは、「飼いたい!」という声が挙がりました!



9/22 Tくんキリギリスを持ってくる



みんなでかいかたを調べます

小魚を食べることがわかり



たべるかな



きゅうしよくのせんせいいたのんで小魚をもらってあげました

# 2025 むしプロジェクト

## Part 5 (まとめ)

### 子どもたちの成長

#### ①分からないことは、図鑑を使って調べる

以前は、分からないことを保育者に尋ねるばかりでしたが、保育室の絵本棚に用意した図鑑や絵本を使い、捕まえた虫の生態や飼い方を自分から調べるようになりました。字が読める友だちを頼り、何が書いてあるかを解説してもらい、友だち同士で協力する姿も見られました。



#### ②調べたことを実践する

- ・かまきりが鶏肉を食べることが分かり、スーパーに買いに行き、小さく切って虫かごに入れました
- ・かまきりを飼うときは、縦に虫かごを使うと良いと図鑑に書いてあったため、虫かごを縦にして使いました

#### ③うまくいかなかったことを、再検討して、方法を変えて実行する

- ・かまきりが鶏肉を食べなかったため、どうして食べないかを調べました。すると、鶏肉を紐にくくりつけ、ぶら下げると良いということが分かり、再度試しました。
- ・カエル用のエサを作ってあげましたが、食べませんでした。みんなで話し合い、大きいカエルなら食べるかもしれないということで、公園に捕まえにいきました。



#### ④経験に基づいた仮説を立てられるようになった

・季節的にバッタがいなくなり、かまきりにあげるエサが無くなりました。もしかしたら、別の虫も食べるかもしれないという仮説を立てた子どもたちは、アリやダンゴムシを捕まえ、かまきりにあげました。

→「生きている虫なら食べた」という経験値から生まれた仮説でした



### 虫さがしを通して・・・

4月進級当初より、公園に行けば必ず虫探しをしていた子どもたち。季節の移り変わりに比例して、捕まえる虫の種類が変化していきました。公園で捕まえた虫は、帰る前に逃すという約束をしていましたが、虫への愛着から捕まえた虫を「飼いたい!」という欲求が子どもたちから生まれます。保育者は、絵本棚に虫の飼い方が詳しく書いてある本を何冊か準備しておきました。すると、すぐに虫好きの子どもたちの目にとまり、愛読書となったのでした。

保育者が考える子どもたちの一番の成長は、

「みんながひとりの意見に寄り添えた」ことです。かまきりを飼う中で、生きている虫をエサとして与えたいという意見と生きている虫をあげるのは可哀想だという意見がぶつかりました。

前者の意見が多数を占める中、後者の意見はたったひとり。話し合いの末、生きている虫以外のエサを図鑑から調べ、試すことにしました。

少数意見を蔑ろ（ないがしろ）にせず、みんなが楽しくかまきりに関われる方法を、子どもたちが考え出したことに、大きな成長がありました!

山口 綾